



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                     |                                                                                                                           |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title               | 統合失調症患者における病識と関連する要因についての研究 [論文内容及び審査の要旨]                                                                                 |
| Author(s)           | 賀古, 勇輝                                                                                                                    |
| Description         | 配架番号 : 1683                                                                                                               |
| Degree Grantor      | 北海道大学                                                                                                                     |
| Degree Name         | 博士(医学)                                                                                                                    |
| Dissertation Number | 乙第6946号                                                                                                                   |
| Issue Date          | 2015-03-25                                                                                                                |
| Doc URL             | <a href="https://hdl.handle.net/2115/58680">https://hdl.handle.net/2115/58680</a>                                         |
| Rights(URL)         | <a href="https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/">https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/</a> |
| Type                | doctoral thesis                                                                                                           |
| File Information    | Yuki_Kako_review.pdf, 審査の要旨                                                                                               |



## 学 位 論 文 審 査 の 要 旨

博士の専攻分野の名称      博士（医 学）      氏 名 賀古 勇輝

主査 教授 久住 一郎  
審査担当者 副査 教授 生駒 一憲  
副査 教授 大滝 純司

### 学 位 論 文 題 名

統合失調症患者における病識と関連する要因についての研究  
(Studies on factors relevant to insight in schizophrenia)

統合失調症患者の病識とさまざまな臨床指標、特に主観的体験との関連を包括的に調査した。病識の評価には the Scale to Assess Unawareness of Mental Disorder (SUMD)を用いて、病識を多角的に評価した。これにより病識と罹病期間や教育年数、精神症状、社会機能、アドヒアランス、服薬態度、認知機能障害、主観的体験との有意な関連が見出された。何らかの主観的苦痛を感じていることが、横断面的に精神症状の自覚につながり、主観的苦痛が改善された体験を通じて縦断的に全般的な病識が形成される可能性が示唆された。

審査にあたり、まず副査の生駒一憲教授から、入院患者が対象となっているということは統合失調症患者の中でも重症の患者を対象としているということかとの質問があり、これに対し申請者は、統合失調症患者では発症後の急性期治療において約 7 割が入院治療を行うため、今回の対象者が特に重症の患者という訳ではないが、入院せずに治療できる軽症患者は含まれていないということとなると回答した。また、病識を改善させるための治療的介入はあるのかとの質問に対し、認知リハビリテーションで認知機能障害を改善させることで病識を形成させやすくできる可能性があることや、心理教育により疾患の知識を提供したり、集団精神療法により疾患の受容を促したりすることで病識が高められる可能性があるかと回答した。また、対象者の中にリハビリテーションを行っている患者はいるのか、さらに病識のある患者のほうがりハビリテーションを導入しやすいということはあるのかとの質問に対し、初回エピソードの対象者 29 例のうち 6 例が何らかのリハビリテーションを行っていた、本研究結果には含まれていないが、当科での調査によって自身の病名を認識している患者のほうがりハビリテーションに従事している割合が多かったと回答した。次に副査の大滝純司教授から、対象者は連続サンプルとされているが除外基準はないのかとの質問があり、これに対し申請者は、精神症状の悪化で入院した患者を対象としており、身体合併症や副作用のコントロールのみを治療目的とした症例は除外している。また、知的障害や思考障害が重度で面接や質問紙の記入が困難であった患者（期間中 2 名）も除外していると回答した。また、評価尺度 SUMD は施行にどの程度の時間を要し、半構造化面接での患者の陳述内容をどのように評価して点数化するのかとの質問に対して、所要時間はコミュニケーションの良好な患者であれば 15

～20 分，逆に思考障害などによりコミュニケーションに問題がある患者では 30 分以上かかることがあり，質問内容はある程度決まっているため，その返答に応じて点数がある程度決まってくるようになっていっていると回答した。また，今回の結果は一般化できる結果なのか，どのようなバイアスがあるのかとの質問があり，大学病院一施設での研究であるため対象者にバイアスがあり，長期入院を要する重症患者や緊急入院を頻繁に必要とするような患者は多施設へ転院する場合が多く対象から外れることとなり，前述の生駒教授からの質問への回答にあるように入院を要しないような軽症患者が含まれておらず，このため中等症の患者が中心であり，そのような患者にはある程度一般化できる結果と考えていると回答した。最後に主査の久住一郎教授から，認知機能障害以外に病識と生物学的な指標と関連についての先行研究はどのようなものがあり，また今後どのようなものについて検討していくのかとの質問があり，これに対し申請者は，MRI での脳容積測定や事象関連電位などとの関連を見た先行研究があるが，一致した明瞭な結果はあまり導かれておらず，その理由として病識の評価尺度の問題があり，全般的な病識のみを評価するような尺度では相関で出にくいのではないかと思われ，今後は今回用いた多次元を評価できる SUMD を用いて，行動課題や認知課題を工夫した事象関連電位や fMRI などとの関連を調査できれば新奇性のある結果を導くことができるのではないかと回答した。

この論文は，統合失調症患者の病識と関連する要因を包括的に調査し，特に主観的体験との関連を詳細に調査した論文として高く評価される。今後，さらに研究を継続することにより，病識の成因についてより明らかにすることができ，病識欠如を改善させるための治療法の向上に資することが期待される。

審査員一同は，これらの成果を高く評価し，申請者が博士（医学）の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。